

- (1面)
- ・平成30年とやま水土里フォーラム
  - ・国営庄川左岸農地防災事業完工式

- (2面)
- ・農地整備事業「種田地区」起工式
  - ・とやま農産漁村インターンシップ in 東中江
  - ・白中ダム現地視察研修会

# となみ野水土里通信

## 第27号

平成30年11月19日

富山県砺波農林振興センター  
 農業農村整備広報・広聴連絡会議  
 〒939-1386 砺波市幸町1番7号  
 電話(0763)32-8124【指導課】

### 平成三十年とやま水土里フォーラム

十月十日(水)、南砺市井波総合文化センターにて、「平成三十年とやま水土里フォーラム」が開催されました。今年「豊かな大地を育む農、農村の魅力再発見」をテーマとして企画しましたところ、土地改良区や県、市の関係者約六百人の参加をいただきました。

まず、土地改良施設が有する多面的機能の発揮等、優れた維持管理活動を実践している団体・個人に対して「とやま水土里賞(知事賞)」の表彰式が行われ、砺波管内からは次の一団体、一個人に賞状が授与されました。

○【団体】打尾谷ため池管理委員会(南砺市)(代表 高田良太郎)

○【個人】土田光秋氏(南砺市)(対象土地改良施設 赤祖父ため池)

受賞者を代表して打尾谷ため池管理委員会の活動事例が紹介された後に、農業ジャーナリストの小谷あゆみ氏が「地域の宝を活かす明るく元気な農村へ」と題して、地域まるごと売っていく視点やこれからの農村運営・農村計画についての講演がありました。



たまねぎ集出荷施設

午後からは現地研修として

- ①小水力発電施設「新明発電所」、②砺波市出町子供歌舞伎曳山会館、③岸渡洪水調整池(国営総合農地防災事業庄川左岸地区)、④J Aとなみ野「たまねぎ集出荷施設」を巡りました。

また、会場では特産品の販売やパネル・ブース展示、農業用コンクリート二次製品の展示が行われ、関心を集めておりました。

今後もこのような取組みを通じて、土地改良施設の有する多面的機能や適切な維持管理の重要性について情報発信していきたいと思

います。  
 今回の開催にあたり、多くの方々のご協力をいただきましたこと、感謝申し上げます。



### 国営庄川左岸農地防災事業 完工式

平成三十年十月二十三日(火)、国営庄川左岸農地防災事業完工式がロイヤルホテル富山砺波で開催され、国や県、市、土地改良区の関係者ら約二百三十人が農地の洪水対策を目的とした事業の完工を祝いました。事業は平成二十一年度から三十年度の工期で、庄川放水路、荒又排水路、岸渡排水路の三水路や洪水調整池二カ所、水管理システムを整備することにより、県西部四市(砺波、高岡、小矢部、南砺)にまたがる受益地の排水機能を回復し、洪水被害の防止を図るものです。

式では、奥田透北陸農政局長の式辞、太田豊彦農林水産省農村振興局長からの挨拶、事業経過報告に続き、来賓の石井隆一富山県知事、県土地改良事業団体連合会長の堂故茂参院議員らからの祝辞がありました。

庄川左岸地区用排水対策促進協議会長の夏野修砺波市長の謝辞では、国営事業に関連する附帯県営事業の平成三十五年の完成に向けた要望もありました。

県としても事業推進に努めますので、関係各位におかれましては事業へのご理解とご協力を賜りたく、引き続きよろしくお願いいたします。



完工式の様子

### パネル展示を行いました

砺波農林振興センターでは、様々な広報活動を行っており、砺波管内で行われたイベントでは、パネル展示にて取り組みを紹介しました。多くの方に、パネルの前で足をとめて見ていただけました。

現在このパネルは、砺波農林振興センターの正面玄関に展示してありますので、センターにお越しの際はぜひご覧ください。



水土里フォーラムにて



センターでの掲示

### イベント開催案内

- ☆11/21(水)  
 砺波管内農地林務優良工事表彰 発表予定
- ☆1/25(金)  
 第30回富山県農村振興技術連盟写真展 表彰式



富山県砺波農林振興センター

〒939-1386 砺波市幸町1-7(砺波総合庁舎内)



砺波農林

検索

砺波農林振興センター  
 ホームページ トップ画面

☆砺波農林振興センター  
 管内の情報をホームページで発信中!!  
<http://www.pref.toyama.jp/branches/1633>

ブログやっています。  
 “とやま水土里探訪ブログ”で検索を!  
<http://facebook.com/toyama.nousonsebi>



### 農地整備事業「種田地区」起工式



- 地区名 : 種田地区
- 受益面積 : 218.7ha
- 総事業費 : 942 百万円
- 工 期 : H29～H36
- 主要工事 : 用排水路整備 16.76km  
客土 2.8ha 区画整理 0.9ha

平成 30 年 10 月 29 日(月)に農地整備事業 (土地改良総合整備事業)「種田地区」の起工式が砺波市庄川親雪体育館で開催されました。

本地区は、昭和 48 年～平成元年にかけて県営ほ場整備事業「庄川地区」にて整備されましたが、整備後 30～40 年以上が経過し、用排水路の老朽化が著しく、漏水等が発生することで、水管理や補修等の維持管理に多大な労力と経費を要し、効率的な営農や農地の汎用化の支障となっていました。

これを受け、県営農地整備事業 (土地改良総合整備事業)「種田地区」として総事業費 942 百万円で平成 29 年度から 36 年度までの 8 年間の事業工期で実施することになりました。

事業は用水路・排水路の更新、区画整理、客土の実施および水管理の ICT 化により、効率的な営農基盤を構築し、水管理の省力化、維持管理費の軽減等を図ることを目的としています。また、集落営農組織の法人化と担い手への農地集積を進めていきます。

起工式では、田中地区委員長が「地区全体の大幅な農業発展に貢献したい」とあいさつされ、金村俊文所長、齋藤一夫副市長、癒師富士夫県議による祝辞が述べられました。

### とやま農山漁村インターンシップ in 東中江



成果発表会



芽かき



相倉集落の地域文化を学ぶ

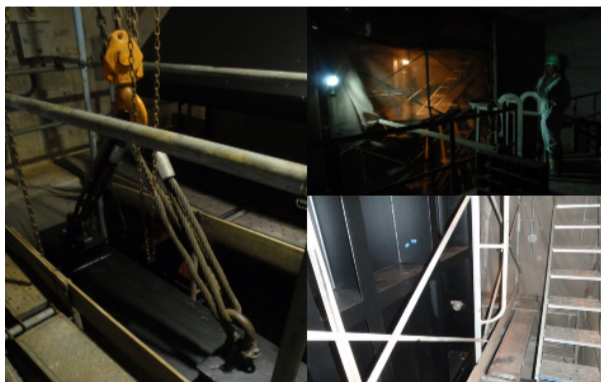
とやま農山漁村インターンシップは富山県の農山漁村地域で行っている都市圏の若者を対象とした滞在型のインターンシップ事業です。

今回は、9 月 1 日から 7 日までの 7 日間にわたり、南砺市東中江 (旧平村) で「五箇山の和紙を学ぶと同時に様々な地域資源を活かした着地型観光プログラムを考える」と題して、県内外の 5 名 (男子 1 名、女子 4 名) の学生が参加されました。

五箇山の相倉・菅沼集落の世界文化遺産などを訪れて、実際に住居として利用されている合掌造り家屋の特徴や地域の歴史や文化にふれて、現在の地域が抱えている課題やその解決方法が何かという難問に取り組みました。また、日差しが照り付ける暑い楮畑のなかで、五箇山和紙の原料となる楮の余分な芽を摘み取る芽かき作業などにも汗を流しました。最終日には、成果発表会があり、7 日間で学んだことや実際に体験したことをもとに全員で議論して、若者らしい広い視点と柔軟な発想で、課題解決に向けた提案の発表がありました。わずか一週間という短い期間の中でしたが、参加者の皆さんがそれぞれ思い出に残る体験になったと思います。



ダム湖面側から見た取水ゲート



工事中の取水ゲートの内部



ダム水位を低くしている



監査廊内部

### 臼中ダム現地視察研修会

となみ野水土里通信第 26 号でご紹介した、「防災ダム・基幹水利施設 臼中 2 期地区」の現場である臼中ダムへ、基幹的農業水利施設の機能を効率的に維持することの必要性を理解し、普段の業務の参考とすることを目的として、砺波農林振興センターより 11 名の職員が現地視察研修に参加しました。

臼中ダムは、南砺市の旧福光町にあり、小矢部川支流の打尾川の上流に設置された「かんがい・防災」を目的としたダムで、研修では、現在行われている取水ゲートの補修工事やダム湖面側からの施設、監査廊を視察しました。

取水ゲートの補修工事では、施設の長寿命化と農業用水の安定供給のための必要な工事であるということ、また、普段水面の下にある取水ゲートをダム湖面側から見るとともに、補修工事のためにダム水位を低くしている管理について学びました。

更に、点検のためのダム内部に設置された監査廊へ入り、点検の内容を見るとともに、堤体に設置されている観測機器から得られる数値データでどのようなことを確認するのか説明を受け、ダム管理について学ぶことができました。



【企画振興課 K】

また、本格的に農業農村整備事業の工事も進んでいます。安全第一での施工で一日でも早い完成に努めてまいりますので、皆様のご協力をお願いします。

### 編集後記

この夏の猛暑もいつしか終わり、朝晩の冷え込みや山も色づいて日々秋が深まっています。食べ物のおいしい季節となり、今年は「富富富」の登場で一層食欲の秋に華を添えています。おいしさの誘惑に負けてついつい食べ過ぎてしまうことがないように気をつけましょう。

八月下旬ごろから前線による長雨や台風の襲来などで豪雨が幾度となく降り、農地や農業施設関係の災害が非常に多く発生しました。災害査定も進んでいますので、本格的に復旧工事が始まりますが、一日も早い復旧の支援をしていきたいと思っています。